

広島市の感染症発生状況(平成 16 年度)

生 物 科 学 部

はじめに

広島市内で発生した感染症のうち 2 類および 3 類感染症は、保健所、各区の保健センター、医療機関などとの連携の基に患者接触者や菌株等の検査を実施している。

平成 16 年度の広島市内における 2 類および 3 類感染症の発生状況を報告する。

方 法

1 感染症発生状況

市内の医療機関から保健センターへ届出された患者の情報および分与された菌株ならびに当所で患者家族や接触者などの検便から分離した菌株をもとに集計した。

2 血清型および毒素型

届出時に医療機関から分与を受けた菌株について、常法により血清型、毒素型を決定した。

結 果

1 細菌性赤痢

平成 16 年度の細菌性赤痢の発生状況を表 1 に示す。7 名の届出があったが、いずれも海外渡航によるもので、このうち 4 名は 6 月上旬、中国シルクロードツアーに広島市内から参加した者で、帰国後 *Shigella flexneri* 2a を分離した¹⁾。ほかの 3 名は *Shigella sonnei* 相であった。

2 腸チフス

腸チフスの発生状況を表 2 に示す。市内の医療機関から海外渡航による疑似の届出が 1 名あった。

3 コレラ

コレラの発生状況を表 3 に示す。市内の医療機

関からフィリピンからの帰国者 1 名の届出があり、生物型および血清型はエルツール小川であった。

4 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況を表 4 に示す。47 名の届出があり、内訳は O157 が 33 名、O26 が 14 名であった。

16 年度の集団発生事例はなかったが、親子、兄弟姉妹など家族内発生事例が 9 件と多く見られた。

月別の発生状況および患者の年齢別発生状況を図 1 および図 2 に示す。腸管出血性大腸菌の発生は 5 月、8 月、9 月に多くみられ、特に 8 月は 19 名で届出数の 40.4% を占めた。O157 は 5 月に 4 件 11 名、8 月に 12 件 14 名、O26 は 8 月に 4 件 5 名、9 月に 2 件 4 名と多く発生したが、疫学的調査の結果、家族内感染はあったものの事例ごとの関連は見られなかった。

年齢別では若年層に多くみられ、10 歳未満が 24 名で届出数の過半数(51%) を占めた。特に O26 はすべて 10 歳未満であった。

腸管出血性大腸菌の血清型と毒素型を表 5 に示す。O157 は 33 名中 19 名が VT1+VT2 で、13 名が VT2 であった。O26 は 14 名すべて VT1 であった。

謝 辞

菌株を分離、分与していただきました広島市内の医療機関に深謝いたします。

文 献

- 1) 萱島隆之：中国シルクロードツアーでの赤痢集団発生例 - 広島市，病原微生物検出情報，25(12)，338～339(2004)

表 1 細菌性赤痢

No.	届出日	性別	年齢	住所(区名)	渡航先	血清型	備考
1	16. 5.15	女	53	中	ネパール	<i>S. sonnei</i>	
2	16. 6.12	女	73	西	中国	<i>S. flexneri</i> 2a	ツアー
3	16. 6.15	女	56	西	中国	<i>S. flexneri</i> 2a	ツアー
4	16. 6.15	女	67	西	中国	<i>S. flexneri</i> 2a	ツアー
5	16. 6.17	男	75	安芸	中国	<i>S. flexneri</i> 2a	ツアー
6	16. 8.14	女	25	安佐南	ベトナム	<i>S. sonnei</i>	
7	16.11.18	女	31	安佐北	中国	<i>S. sonnei</i>	

表2 腸チフス

No.	届出日	性別	年齢	住所(区名)	渡航先	血清型	備考
1	16. 4. 9	男	29	西	インドネシア		疑似届出

表3 コレラ

No.	届出日	性別	年齢	住所(区名)	渡航先	血清型	備考
1	16. 7. 12	男	29	西	フィリピン	V.cholerae 01	伊トール小川

表4 腸管出血性大腸菌感染症(1)

No.	届出日	性別	年齢	住所(区名)	血清型	毒素型	備考
1	16. 4. 20	男	19	西	O157 H7	VT1+VT2+	
2	16. 4. 26	男	8	西	O26 H-	VT1+VT2-	
3	16. 5. 11	男	2	佐伯	O157 H7	VT1-VT2+	No. 3
4	16. 5. 13	女	6	佐伯	O157 H7	VT1-VT2+	No. 3 姉
5	16. 5. 13	女	3	西	O157 H7	VT1-VT2+	
6	16. 5. 13	男	1	西	O157 H7	VT1-VT2+	No. 6
7	16. 5. 17	女	4	西	O157 H7	VT1-VT2+	No. 6 姉
8	16. 5. 17	女	34	佐伯	O157 H7	VT1-VT2+	No. 3 母
9	16. 5. 21	男	16	西	O157 H7	VT1-VT2+	No. 6 同居人
10	16. 5. 25	女	6	西	O157 H7	VT1-VT2+	No. 6 姉
11	16. 5. 26	男	10	安佐南	O157 H7	VT1+VT2+	No. 11
12	16. 5. 29	男	36	安佐南	O157 H7	VT1+VT2+	No. 11 父
13	16. 5. 29	女	33	安佐南	O157 H7	VT1+VT2+	No. 11 母
14	16. 6. 16	女	31	南	O157 H7	VT1-VT2+	
15	16. 6. 25	女	5	市外	O26 H-	VT1+VT2-	
16	16. 7. 29	女	34	安佐北	O157 H7	VT1+VT2+	
17	16. 8. 3	女	4	西	O26 H11	VT1+VT2-	
18	16. 8. 7	男	10	西	O157 H7	VT1+VT2+	No. 18
19	16. 8. 10	女	41	西	O157 H7	VT1+VT2+	No. 18 母
20	16. 8. 11	女	60	東	O157 H7	VT1+VT2+	
21	16. 8. 14	女	10	東	O157 H7	VT1-VT2+	
22	16. 8. 16	男	6	安佐南	O157 H7	VT1+VT2+	
23	16. 8. 18	男	25	西	O157 H7	VT1+VT2+	
24	16. 8. 19	男	16	南	O157 H7	VT1+VT2+	No. 24
25	16. 8. 19	男	12	南	O157 H7	VT1+VT2+	No. 24 弟
26	16. 8. 19	男	1	市外	O26 H11	VT1+VT2-	
27	16. 8. 19	女	50	安佐南	O157 H7	VT1+VT2+	
28	16. 8. 20	女	9	西	O26 H11	VT1+VT2-	No. 28
29	16. 8. 21	男	29	西	O157 H7	VT1+VT2+	
30	16. 8. 23	男	19	安佐南	O157 H7	VT1+VT2+	
31	16. 8. 24	男	5	西	O26 H11	VT1+VT2-	No. 28 弟
32	16. 8. 24	男	24	西	O157 H7	VT1+VT2+	
33	16. 8. 24	女	14	西	O157 H7	VT1-VT2+	
34	16. 8. 26	男	20	東	O157 H7	VT1+VT2+	
35	16. 8. 31	男	3	安佐南	O26 H11	VT1+VT2-	

表4 腸管出血性大腸菌感染症(2)

No.	届出日	性別	年齢	住所(区名)	血清型	毒素型	備考
36	16. 9. 9	男	2	東	O26 H11	VT1+VT2-	No.36
37	16. 9.14	男	7	東	O26 H11	VT1+VT2-	No.36 従兄弟
38	16. 9.14	女	1	安佐南	O26 H11	VT1+VT2-	No.38
39	16. 9.15	女	12	西	O157(LPS 抗体陽性)		No.39
40	16. 9.19	男	9	西	O157 H7	VT1-VT2+	No.39 弟
41	16. 9.20	女	64	中	O157 H7	VT1+VT2+	
42	16. 9.22	男	7	安佐南	O26 H11	VT1+VT2-	No.38 兄
43	16.10. 5	女	1	西	O157 H7	VT1-VT2+	
44	16.10.12	男	6	安佐南	O157 H7	VT1+VT2+	
45	16.10.19	男	4	安佐南	O26 H-	VT1+VT2-	
46	16.11. 8	女	8	西	O26 HUT	VT1+VT2-	
47	16.11.30	男	8	市外	O26 H11	VT1+VT2-	

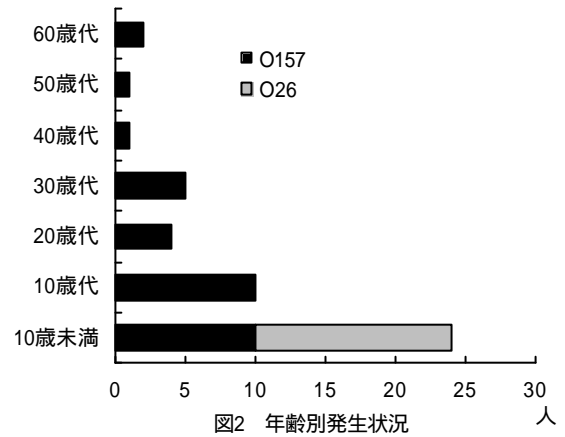
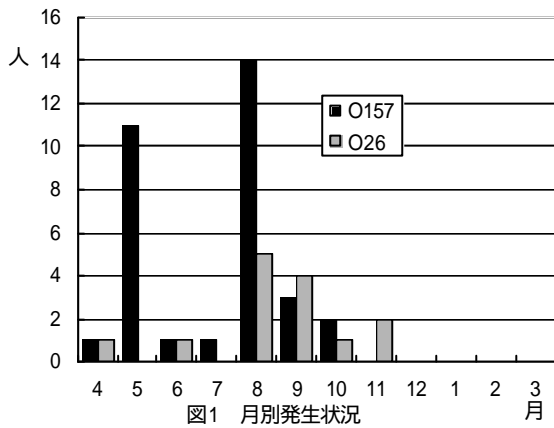


表5 腸管出血性大腸菌の血清型と毒素型

	VT1	VT2	VT1+VT2	不明	計
O157 H7	-	13	19	-	32
O157	-	-	-	1	1
O26 H-	3	-	-	-	3
O26 H11	10	-	-	-	10
O26 HUT	1	-	-	-	1
計	14	13	19	1	47